

05 直貼り用 フローリング【施工説明書】

この度は弊社製品をご採用頂き誠にありがとうございます。必ずこの説明書をよくお読み頂き、商品の特徴をよくご理解の上施工してください。こちらは**直貼り用フローリングの施工説明書**ですのでご注意ください。

①施工前の注意事項

<現場での保管方法>

直射日光や湿気の多い場所、水気のある場所での保管は避けてください。
また反りなどの変形を防ぐため、保管する際は梱包をしたまま、立て掛けずに平置きにして保管してください。

<商品の確認>

品質には万全を期しておりますが、万が一不良品や傷などがございましたら、必ず施工前にお電話でご相談ください。
施工後の商品お取替えには応じられません。

<下地処理について>

- モルタルの配合比はできる限り硬練りして(セメント:砂:水=1:25:0.5)30mm程度の厚さに定規摺りし、不陸ができないようにしっかりと押さえてください。
特に部屋の隅は、ハネ上がりや落ち込みが無いよう壁に直角に押さえてください。
- モルタルの不陸は1mにつき3mm以内であることを確認してください。
下地の不陸が大きいとフローリングと下地の間に隙間ができるため、歩行時に不快感が生じます。
- モルタルの乾燥度は含水率10%以下で施工してください。含水率が高い場合、フローリング間に隙間ができたり、フローリングが反る等不具合を生じる場合があります。通常施工時のモルタル養生期間の目安は、1階部分3週間/2階以上部分2週間/デッキプレート部分5週間以上です。
特に冬場は地域や同一現場でも差が生じますので十分注意してください。
- 施工面にはシート等の物を置かないでください。また天気の良い日は窓を開け風通しを良くしてください。
- モルタルが平滑でない場合はモルタル表面に付着している異物を除去し、下地が悪い場合はワイヤブラシ付きポリッシャーで表面の浅留セメントを取り除いてください。
- ほうきで大きなゴミ等を除去し、掃除機で小さなホコリまで取り除いてください。

<その他の注意事項>

- フローリングは開封後すぐに施工してください。
- 雨天など湿気の多い環境下では施工を控えてください。

②フローリング貼り込みについて

- 1、天然木を使用しているため、木目や色に違いがあります。必ず**仮並べをし、全体のバランスを確認**してください。
- 2、施工前にほうきや掃除機で下地表面が綺麗に清掃されているか確認してください。
- 3、モルタルの乾燥度を確認し、モルタル水分計で数値が10%以下でなければ施工はしないでください。
- 4、モルタル面の不陸を調査し、1mにつき3mm以内に納まっていることを確認してください。
- 5、貼り込みに先立ち基準墨出し線を引き、割り付けや色合わせをチェックし、巾木までの寸法等を測定し、貼り始めの巾決めをしてください。巾決めをした製品をカットして、エンドの接着部が1カ所に集中しないようにしてください。
- 6、**接着剤は直貼り専用のウレタン樹脂系の接着剤を使用**してください。接着剤を「櫛ヘラ」を使用し、下地へ均等に全面に塗布してください。
- 7、乾燥接着に気を付けながら、ゴムハンマーを用いて表面を叩き、**下地とフローリングの間の空気を完全に抜きながら貼り込んでください**。窓際は**2~3mmの隙間を空け**、巾木にのみ込ませるかコーキングで隠れるように施工してください。また貼り始めと納めの部分や巾決めのカットした箇所はサネがカットされて浮き易いため、特に注意して押さえ込んでください。
- 8、接着剤がフローリング表面または巾木等に付着しないように注意し、付着した場合は素早く取り除いてください。
- 9、貼り込み後、必要に応じて重しを置き、下地と床材の間の空気を完全に抜くようにしてください。
また他の作業を行う際は接着剤が付着しないよう保護シート等でしっかり養生してください。
- 10、施工終了後、夏場12時間/冬場24時間立ち入り禁止としてください。

③貼り込み後の注意事項

<養生について>

- 養生をする前には細かいごみを完全に取除いてから行ってください。表面への傷の原因となります。
- 養生シートを敷き、その上に合板やダンボールを敷いてフローリングをしっかりと保護してください。
- 養生テープはフローリングに直接貼らないでください。塗装の剥がれや表面を傷付ける可能性があります。接着する部分にダンボールなどを敷き、その上に養生テープを貼ってください。
- フローリング全体を覆うように養生してください。一部が露出していると、日焼けにより他の部分と色差の生じたり、目地などに埃やチリが入り取れなくなる場合がありますので注意してください。

<クリーニングについて>

- ほうきや掃除機でほこりなどを取り除き、汚れが付いている場合は固く絞った雑巾で拭き取ってください。水拭きする際は水分がフローリングの隙間に入らないよう、しっかりと絞ってから拭いてください。また水拭き後も水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- ワックスや洗剤等は使用しないでください。UV塗装塗膜の破壊・ツヤの変化・突き上げなどの原因となります。

④メンテナンスについて

<日常のお手入れ>

- 乾拭き、またほうきや掃除機で掃除をしてください。
- 汚れが付いた場合は固く絞った雑巾で拭き取ってください。水拭きする際は水分がフローリングの隙間に入らないよう、しっかりと絞ってから拭いてください。また水拭き後も水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- しつこい汚れの場合には中性洗剤を水で薄め、固く絞った雑巾で汚れを取り除いてください。洗剤や水分が残らないようしっかりと拭き取ってください。
- 水分の持ち込みが起こらないように注意してください。場所によっては靴拭きマットを敷くなど必ず対処するようにしてください。フローリング表面はコーティングされていますが、継ぎ目にはコーティングされていません。水分が隙間に入ると反りや突き上げなど不具合の原因となります。

<ワックスについて>

- ワックス塗布は極力行わなわず、そのままご使用ください。フローリング表面はUV塗装されており、ワックスが密着しないことがあります。またワックスによるUV塗装塗膜の破壊・ツヤの変化・変色などの原因となりますので十分ご注意ください。



株式会社 伊勢通

【名古屋本社】

名古屋市中区千代田2-24-16 伊勢通ビル
tel 052-262-7828 / fax 052-262-7830

【東京営業所】

東京都台東区浅草3-8-2-202
tel 03-6240-9350 / fax 03-6240-9351